

# ものごとを多面的にとらえる 子どもを育てる授業

～いつでも どこでも 誰でもできる 新しい平和教育～

この世界地図はどうやって  
色分けされているのかな？  
この赤い色の国は  
どういう国なんだろう？  
アフリカに多いようだけど…

日本は緑色だね。  
アメリカやヨーロッパと  
同じ色ってことは  
先進国ってことかな…



日本が真ん中にないね。  
この地図を作った人は  
きっと日本人じゃないね。  
伝えたいことが真ん中に  
あるはずだよ！

この地図の説明は中に  
書いてあるんだって！  
今すぐ見てみようよ！

## 私たちが考える「平和教育」は…

戦争の悲惨さを学び反戦の誓いを新たにするだけでなく、身の回りにある争いや危機を解決するために考え、行動する力を子どもたちに育てる教育です。ここでいう争いや危機とは、国と国との戦争や紛争、地球環境やエネルギー、飢餓の問題からクラスの中のいじめや親子のコミュニケーションなど様々なものを含みます。暴力的な手段を用いなくて、話し合いによって争いや危機を解決する力を伸ばすことこそ大切だと考えます。こうした考えをもとにした研究所所員の実践を紹介します。

## 相手のことをわかろうとする気持ちを育てる ～小学校中学年での実践～

「ものごとを多面的にとらえる力」「相手のことをわかろうとする気持ち」は、地球的問題群を取り上げて学ぶことからのみ育てられるものではない。これからの社会で生きていくためには身につけておきたい力であると言える。児童の発達段階や教科との関連を考えたとき、小学校の低・中学年では、教育活動全体を通して、他者理解をしようとする態度や心を育てていくことが大切であろう。

### お互いのよさを認め合うことから、自尊感情を育み、相手への理解を深める実践 ～友だちの良いところ見つけコーナー～

道徳の授業からの発展として、友だちのよいところを見つけたらカードに書き、名前の書いてあるフックに自由に掛けていくという「友だちの良いところ見つけ」のコーナーを設けた。よさを見つける目をもつことを価値づけることで、カードを書いた子も書いてもらった子も、ともに充実感を得られるように考えた。子どもたちの声から、「友だちが自分のことをみてくれてうれしかった」「カードを書いていると自分の気持ちがあたたかくなる」といった感想が聞かれた。

このとりくみによって、相手のよさをすすんで見つけようとしたり、相手のよさを認め、わかろうとしたりする前向きな姿勢が子どもたちの中に育ってきたことを感じた。



### 身体の不自由な人やお年寄りへの理解を深め、自己のテーマをもって 学習にとりくむことから、視野を広げ、自分にできることを考えていく実践 ～社会科の学習から「福祉教育」へとつなげた実践例～



社会科「安全なくらしとまちづくり」の授業を導入として、総合的な学習の時間で「福祉教育」にとりくんだ。体験キットを使用して身体の不自由な人やお年寄りの苦勞を体験したり、お年寄りとの交流会に参加してかかわり合ったりした。

身体の不自由な人やお年寄りの疑似体験を通して、その苦勞や大変さを知り、相手の立場にたって考え、わかろうとする気持ちをもつことの大切さを学んだ。お年寄りとの交流会では、相手の立場にたって考えたことを行動にうつす実践の場として位置づけた。

子どもたちは、お年寄りの立場にたって考えることの大切さを感じながら、グループごと、よろこんでもらえそうな様々な計画をたてることができた。そして、2回目の交流会では、前回以上に内容も充実し、楽しそうにかかわり合う姿が見られた。

こうしたとりくみを通して、相手の立場にたって考えることの大切さを学ぶとともに、調べ学習などを通して子どもたち一人一人の視野が広がり、もの見方も広がってきたように感じられた。また、今後、自分にできそうなことはすすんでしたいという思いや意欲をもつことができたことは、まさしく今後の平和教育へとつながるものであったと思う。



私たち教育事業団体はみなさまのサポーターです



財団法人 静岡県教職員互助組合



STC 静岡県教職員生活協同組合



STC 静岡県学校生活協同組合連合会

## クバーラから世界を知ろう ～マダガスカルの遊びを体感しながら、途上国の人たちの生き方を学ぶ～

途上国のイメージは…

- ・まずしい。貧乏
- ・食べるものがない。
- ・物が不足している。
- ・たくさんの人が死んでいる。

など

そして、そこから生まれる発想は…

- ・募金をしよう。
- ・好き嫌いしないで食べよう。
- ・いらなくなった物を寄付しよう。

など

「途上国＝かわいそう」  
というイメージが  
できあがって  
いないだろうか？

すでに、このような発想が  
途上国を下に見ているのでは  
ないだろうか。

青年海外協力隊 OB を招き、マダガスカルの国の様子、貧困の実態、現地での活動内容などの講義を受ける。さらに、この方がスポーツ化した「クバーラ」の正式ルールを学び、実際に体験した。



途上国の人々に対し何が  
できるかではなく、途上国の  
人々から生き方を学ぶ。



マダガスカルの様子を教えてもらう。

- ・マダガスカルの動物や植物について
- ・マダガスカルの子ども達達の生活の様子
- ・マダガスカルの学校の様子

日本（自分たち）と比べて、厳しい環境の中で、子どもたちは生活していることを感じる。



クバーラの VTR を見ながら、ルールを教えてもらう。

「クバーラ」とは簡単に言えば、陣取りゲーム。ルールもそれほど複雑ではありませんが、マダガスカルの人たちも、こうやって「子どもの遊び」を「競技」へと変えていった。



＜授業を終えて（子どもの反応）＞

- ・ぼくたちは、DS とかでよく遊ぶけど、そういうゲームがない中で、自分たちで工夫して遊びを考えていくマダガスカルの人たちはすごい。
- ・私も、将来は外国語を学んで、途上国の人に役立てるような仕事をしたい。

子どもたちはマダガスカルの人々を哀れむのではなく、マダガスカルの人たちから、自分たちにはない強い生き方を学ぶことができた。



## メリットとデメリットの両面を調べることからスタート ～自ら発電することをきっかけにエネルギーについて考える実践～

### 1 理科「発電と電気の利用」の単元から

電気は自分で作ることができるのだろうか。



手回し発電機を使って、電気を作る

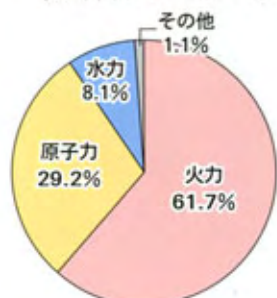
- ・電気はこうやって作ることができるんだ。
- ・腕が疲れた。つけ続けるにはずっと回していないといけない。
- ・教室の電気（蛍光灯）をつけるのにはもっとたくさんの電気が必要そうだ。

生活に必要な大量の電気はどのようにして作られているのだろうか。

### 2 電気の作り方を知り、その長所・短所を調べる。

〈教科書のコラムから〉

火力発電は地球温暖化につながるのに一番利用されている。他の発電方法には変えられないのだろうか。

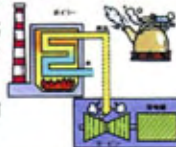


発電電力量の構成  
〔「エネルギー白書 2010」より〕

#### 〈火力発電〉

石炭や石油、天然ガスを燃やして発電する。

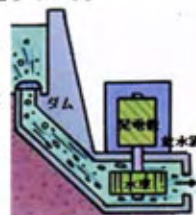
- 効率が良い。
- 電気を作る量を調節しやすい。
- 地球温暖化の原因、二酸化炭素を出す。
- 燃料の石油は45年、石炭は230年、LNGは65年でなくなってしまう。
- 石油や石炭は外国から輸入しなければならない。



#### 〈水力発電〉

流れる水の力で水車を回して電気を作る。

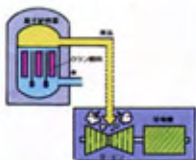
- 自然の力を利用して発電している。
- 二酸化炭素を出さない。
- 原動力の水はなくなることはない。
- 雨が降らないときはたくさん発電できない。
- 発電所のダムや湖で自然が壊されてしまう。



#### 〈原子力発電〉

ウランを核分裂させて出る熱を使って電気を作る。

- 少ない燃料でたくさんの電気が作れる。
- 二酸化炭素を出さない。
- 放射能を出す物質を作ってしまう。
- 使い終わった燃料は捨てられない。
- 放射能はすごく危険。



#### 〈風力発電〉

風の力で風車を回して発電する。

- 自然の力を利用しているから、環境を汚さない。
- 燃料が必要ない。
- 風のない日は発電できない。
- 発電電力は小さい。

#### 〈太陽光発電〉

太陽のエネルギーを集めて電気にする。

- 太陽の光は無限で、なくなる心配はない。
- 家の屋根でも発電できる。
- 夜や太陽が出ていない日は発電できない。
- 広い場所が必要。

#### 〈地熱発電〉

地中の熱を利用して発電する。

- 燃料がいらない。
- 火山の多い日本ではたくさん発電できる。
- 火山のあるところでしか発電できない。

### 3 これからのエネルギー政策について考えをもつ。

これからのエネルギーはどのようにしていけばよいのだろうか。

#### 〈発電方法について〉

- ・二酸化炭素や有害な物質を出す発電方法は、できるだけ少なくしたほうが良い。
- ・原子力発電所は地震や事故が1度でも起きるとすごい被害になるので、使わないようにしたほうが良い。
- ・火力発電や原子力発電はなくせないかもしれないけど、風力発電や太陽光発電をたくさん作ってできるだけ自然なエネルギーで発電したほうが良いと思う。

#### 〈消費者の立場で〉

- ・使わない部屋の電気を消したり、冷房・暖房の温度を控えめにしたりして、電気を無駄に使わないようにする。
- ・LEDや省エネ家電など、電化製品を買うときには節電につながるものを選ぶ。

### 4 世界のエネルギー政策について紹介する。

#### 〈児童の感想から〉

- ・どの発電方法にも長所と短所があるということに驚いた。でも、原子力発電が一番危ないと思った。
- ・一番利用されている火力発電の燃料があと少ししか残っていないということにびっくりした。石油（燃料）がなくなったら、電気も作れないし車も動かない。それまでに別の発電方法を考えなければならないと思った。
- ・自然の力で電気を作ることができるなんてすごいと思った。世界中で新エネルギーの開発や転換が進められていることはいいことだと思う。

## 世界に目を向けよう ～「児童労働」について考える～

### ① 子どもたちがよく使っている サッカーボールを提示



- ・毎日使っているよ。
- ・家に2つもあるよ。
- ・安く買ったよ。

### ② 「児童労働」の現実を知る



- ・そんなこと聞いたことなかった。
- ・びっくりした。

### ④ 自分たちの生活に身近なものが「児童労働」によって作られていることをどう思いますか。

- ・働いたお金はもらえないのかな。
- ・学校でみんなと勉強できることに感謝しなきゃ。
- ・売れなかったら、お金がもらえなくなる。
- ・安いからって買うのはいけないの。



### ③ 働いている子どもたちについて考える。



- ・学校には行けないのかな。
- ・なぜ働かされているのかな。
- ・大人はどんな仕事をしているのかな。

### 実践を終えて

小学校3年生でも、話題の出し方によっては実践が可能であることが分かった。

身近な物を提示することで、子どもたちが共感したり、比べて考えたりすることにつながったと感じている。

子どもたちの授業への満足感はどうなのか見極めたい。

### ⑤ 今日の学習で、どんなことを感じたかな。

- ・僕たちは、学校でみんなと遊んだり学習したりできて楽しいから、感謝しないといけないと思った。
- ・働いたお金で学校へ行けたらいいと思った。
- ・世界中に働いている子どもがいるなんて初めて知った。



### ● 表紙の地図は…「ハンガーマップ」

この地図は国際連合食糧農業機関（FAO）の統計を元に、世界地図をどこの国や地域で栄養不足が深刻かという観点で色分けしています。赤色は栄養不足人口の割合35%以上の国、緑色は2.5%以下の国です。ハンガーマップは、小・中学生および高校生を主な対象に、WFP 国連世界食糧計画（World Food Programme）が初めて作成した、世界の飢餓について学ぶための教材です。より多くの人々にこのハンガーマップをみてもらい、自分たちにも関係のある問題だということを知ってもらいたいと思っています。このハンガーマップは WFP 国連世界食糧計画から取り寄せることもできます。右記のアドレスを参考にしてみてください。（<http://www.wfp.or.jp/kyokai/hunger.html>）



## 国際連帯と平和研究委員会

共同研究者 伊藤 恭彦(名古屋市立大学大学院人間文化研究科教授)

私たちは子どもたちの「平和的問題解決能力」を育てることを平和教育の目的だと捉えています。平和的問題解決で大切なことは2つあります。一つは相手の立場に立って考える力です。もう一つは多面的なものの見方ができることです。それは「ある現象にはいろいろな人が関わっていること」、「違う関わりをしている人の立場から見るとこの問題は どう見えてくるか」という視点を養っていくことです。

地域、国、地球といったさまざまなレベルで、残念ながら人と人との対立が続いています。対立を平和的に解決する能力を身につけていくことは、人類の存続に不可避の課題です。こうした課題に応える平和教育は、反戦教育という枠を越え、21世紀地球市民教育につながるものです。

## 今すぐ使える資料・書籍・DVDの紹介

### ●せかいのひとびと

世界にはさまざまな民族、風習、言語、文化などがあることを、やさしく説明。それぞれがちがっていることの素晴らしさを伝える大型絵本。



### ●せかいいち うつくしい ぼくの村

アフガニスタンと聞いて何を思い浮かべますか？ここで描かれるのは美しいアフガニスタンの小さな村。それだけにラストシーンは何かを私たちに投げかけます。



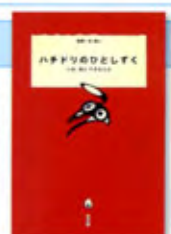
### ●あなたが世界を変える日

1992年ブラジルで開かれた国連の地球環境サミット。カナダ人の12歳の少女が、いならぶ世界各国のリーダーたちを前にわずか6分間のスピーチをしました。



### ●ハチドリのひとしずく

森火事に一滴ずつ水を運ぶハチドリに対して、森から逃げた動物たちは「そんなことして何になるのだ」と笑います。ハチドリは「私は、私にできることをしているだけ」と答えました……。



### ●世界から貧しさをなくす30の方法

「貧しさ」とは、豊かな国の側が作った世界の仕組みの問題でした。私たちが日ごろ食べたり使ったりしている物を通じて、暮らしとのつながりから、その仕組みの問題点を提示します。



### ●戦争をやめさせ環境破壊をくいとめる新しい社会のつくり方

戦争をやめさせ、地球温暖化を中心とする環境破壊をくいとめる新しい社会づくり方法とは？



### ●その手に1本の苗木を

「モットイナイ」の精神を世界に広め、アフリカ人女性で初のノーベル平和賞を受賞した環境保護活動家W・マータイさんの伝記絵本。



### ●もったいない

この本は冒頭にそのマータイさんの言葉を紹介、日常生活のなかからさまざまな「もったいない」エピソードを挙げて、絵と文でわかりやすく説明していきます。



### ●ありあまるごちそう (DVD)

世界では120億人分の食料が生産されているが、同時に10億人が飢えに苦しんでいる。歪んだ食の世界経済に迫ったフードドキュメンタリー。



### ●政治哲学

本研究委員会共同研究者伊藤恭彦先生の最新刊。政治哲学の視点から正義とは何か、権力とは何か、「正しさ」と「力」の根源を問います。



教育研究所は書籍・DVDの貸し出しもしています！書籍の検索もできます！！  
詳しくは研究所HP (<http://www.stu.jp/>)へ

## 2011年度 国際連帯と平和研究委員会

- |       |                  |             |              |             |             |
|-------|------------------|-------------|--------------|-------------|-------------|
| 所員    | 牧野 信隆(東豆支部)      | 石川 幸義(沼津支部) | 五十嵐崇人(富士支部)  | 鈴木真一郎(清庵支部) | 梶山 高秀(静岡支部) |
|       | 横井 広幸(志大支部)      | 本多 哲之(静岡支部) | 來世 訓世(浜松支部)  | 鈴木 昭秀(浜名支部) |             |
| 共同研究者 | 伊藤 恭彦(名古屋市立大学教授) |             |              |             |             |
| 事務局   | 細川 幹太(所長)        | 平野 恵司(事務局長) | 大中香代子(副事務局長) |             |             |